

学校における安全教育の手引について

平成24年2月9日
保健体育課

東日本大震災の教訓から、地震、津波、原子力災害等に対する各学校の防災教育の一層の充実をはじめ、普段の防犯対策や交通安全まで盛り込んだ、学校における安全教育の手引が、この度、完成し配布しましたので報告いたします。

記

1 冊子名

『いのちを守る「知恵」をはぐくむために
～学校における安全教育の手引～東日本大震災の教訓を踏まえて』

2 冊子のポイント

☆ 学校がしっかりと活用できるよう工夫

・ **各学校が、優先度を決めながらそれぞれの実状に応じた取組ができるよう逆引きチャートをSTEPごとに整理**

- ・ 様々な危険に応じた対応フローを充実
- ・ 取組を見直すときに役立つチェックシートを作成
- ・ 資料として国語や理科など通常の授業時にも「いのちを守る」ための教育内容を盛り込む工夫の事例を掲載
- ・ 各地域の実状に応じた実践例を掲載
- ・ 学校が避難所となったときの運営例も掲載

☆ 子どもたちが自らの命を守るために必要な「はぐくみたい力」を具体的に明示

- ・ わかる・・・安全確保に必要な事項の実践的理解
- ・ 助かる・・・危険予測に基づいた安全な生活を送る基礎の育成
- ・ みんなで助かる・・・安全な社会づくりへの資質・能力の涵養

3 配布先（京都市除く。）

各市町（組合）教育委員会、公立幼稚園、公立小・中学校、府立学校 他

4 今後（24年度）の計画

- ・ 各研修会等で手引の活用について説明（校内研修等での活用）
- ・ 各学校（園）での活用状況の集約
- ・ 各学校（園）での学校安全計画、危険等発生時対処要領の検証状況把握